

取手市における地域経済動向調査

＜実施概要＞

調査時期	郵送：平成29年7月27日～8月21日 ウェブ：平成29年7月27日～9月30日
調査対象	取手市内の事業者2,394社(商工会員1,175社、非商工会員1,219社)
回収数	紙面：323件 ウェブ：8件
有効回答数	331件(13.8%)

属性

- ・回答者全体では331件で、うち小規模事業者は251件だった。
- ・回答者の57.7%は商工会の会員だった。

○業種

業種	今回調査		RESAS	
	回答数	割合	回答数	割合
製造	36件	10.6%	114件	5.0%
卸売業・小売業	76件	22.3%	556件	24.4%
飲食・サービス	90件	26.4%	787件	34.5%
建設	38件	11.1%	280件	12.3%
不動産	19件	5.6%	185件	8.1%
運輸・倉庫	10件	2.9%	35件	1.5%
情報・通信	3件	0.9%	15件	0.7%
金融・保険	4件	1.2%	21件	0.9%
その他	65件	19.1%	288件	12.6%
合計	341件	100%	2281件	100.0%

※複数の業種で事業を営んでいる方がおりますので、
合計値が有効回答数の331件を超えます。

○従業員数

	全体		うち小規模事業者	
	回答数	割合	回答数	割合
0人	76件	23.0%	76件	30.3%
1～5人以下	152件	45.9%	152件	60.6%
6～20人以下	40件	12.1%	22件	8.8%
21～50人以下	15件	4.5%	0件	0.0%
51～100人以下	6件	1.8%	0件	0.0%
101人以上	21件	6.3%	0件	0.0%
回答なし	21件	6.3%	1件	0.4%
合計	331件	100.0%	251件	100.0%

○資本金

	全体		うち小規模事業者		
	回答数	割合	回答数	割合	
個人事業主	500万円以下	100件	67.1%	97件	70.3%
	500万円超～1千万円以下	21件	14.1%	18件	13.0%
	1千万円超～3千万円以下	6件	4.0%	5件	3.6%
	3千万円超～5千万円以下	3件	2.0%	3件	2.2%
	5千万円超～1億円以下	1件	0.7%	0件	0.0%
	1億円超	2件	1.3%	1件	0.7%
	回答なし	16件	10.7%	14件	10.1%
	合計	149件	100.0%	138件	100.0%
法人	500万円以下	71件	41.3%	57件	50.9%
	500万円超～1千万円以下	37件	21.5%	25件	22.3%
	1千万円超～3千万円以下	32件	18.6%	22件	19.6%
	3千万円超～5千万円以下	7件	4.1%	5件	4.5%
	5千万円超～1億円以下	9件	5.2%	1件	0.9%
	1億円超	13件	7.6%	1件	0.9%
	回答なし	3件	1.7%	1件	0.9%
	合計	172件	100.0%	112件	100.0%
回答なし	500万円以下	2件	20.0%	1件	100.0%
	500万円超～1千万円以下	0件	0.0%	0件	0.0%
	1千万円超～3千万円以下	0件	0.0%	0件	0.0%
	3千万円超～5千万円以下	0件	0.0%	0件	0.0%
	5千万円超～1億円以下	0件	0.0%	0件	0.0%
	1億円超	0件	0.0%	0件	0.0%
	回答なし	8件	80.0%	0件	0.0%
	合計	10件	100.0%	1件	100.0%
合計	331件		251件		

○事業所の所在地

	全体		うち小規模事業者	
	回答数	割合	回答数	割合
取手地区	217件	65.6%	164件	65.3%
麻代地区	99件	29.9%	79件	31.5%
それ以外	47件	14.2%	23件	9.2%
合計	363件	109.7%	266件	106.0%

※複数地区で事業を営んでいる方がおりますので、
合計値が有効回答数の331件を超えます。

○商工会会員・非会員

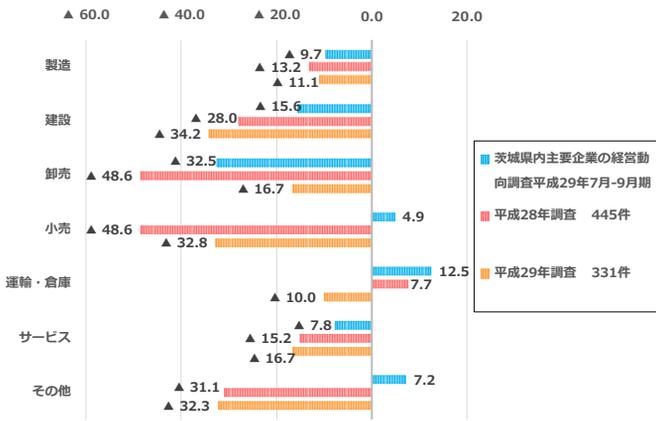
	全体		うち小規模事業者	
	回答数	割合	回答数	割合
会員	191件	57.7%	157件	62.5%
非会員	119件	36.0%	86件	34.3%
回答なし	21件	6.3%	8件	3.2%
合計	331件	100.0%	251件	100.0%

取手市の事業者の状況

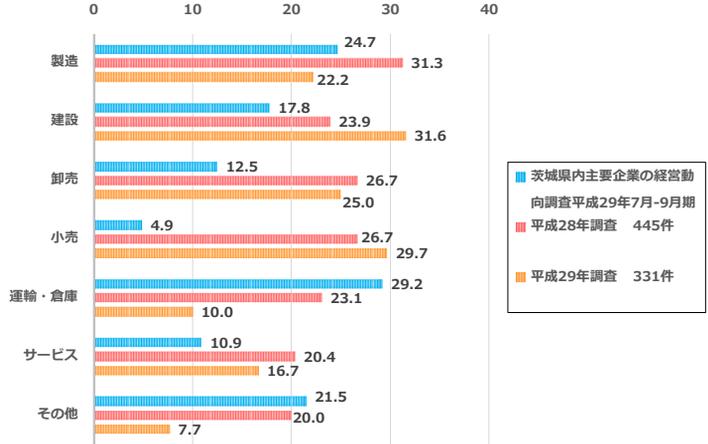
- ・売上状況は「製造業」、「卸売業」、「小売業」で、平成28年調査を上回った。
- ・仕入価格は「建設業」、「小売業」を除いて、すべての業種で、平成28年調査を下回った。
- ・収益状況は「卸売業」、「小売業」、「サービス業」の業種で、平成28年調査を上回った。
- ・資金繰りは「製造業」と「非製造業」の両業種で平成28年調査よりも改善している。

○各種DIまとめ

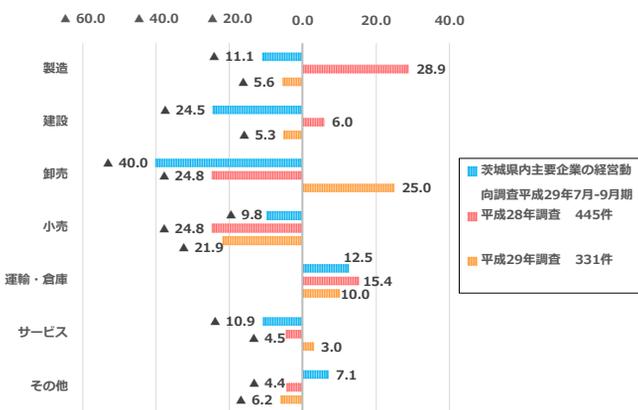
○売上状況 ※DI値=増加-減少



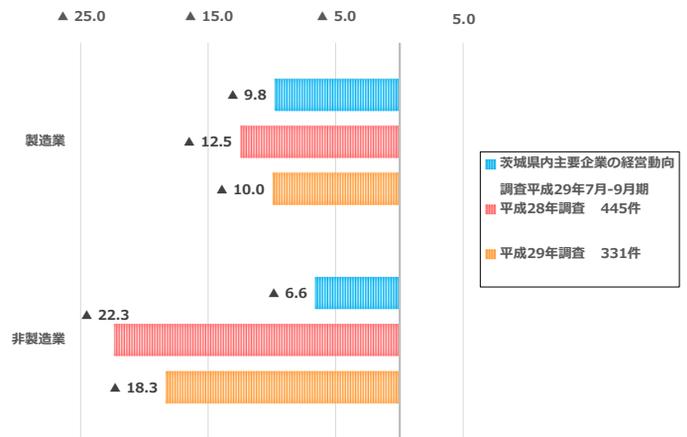
○仕入価格 ※DI値=上昇-低下



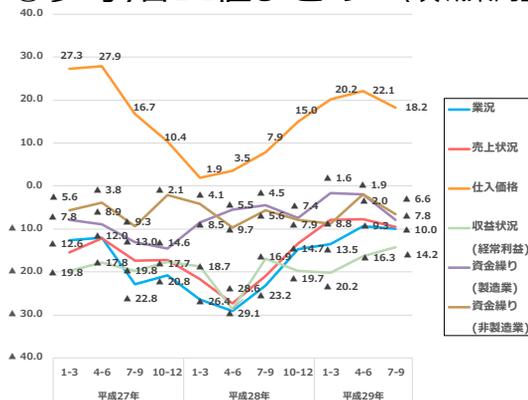
○収益状況 ※DI値=黒字-赤字



○資金繰り ※DI値=好転-悪化



○参考)各DI値まとめ (茨城県内主要企業の経営動向調査、平成27年1月～平成29年9月)



	業況	売上状況	仕入価格	収益状況 (経常利益)	資金繰り (製造業)	資金繰り (非製造業)
平成27年	1-3	▲ 12.6	▲ 15.5	27.3	▲ 19.8	▲ 7.8
	4-6	▲ 12.0	▲ 12.2	27.9	▲ 17.8	▲ 3.8
	7-9	▲ 22.8	▲ 17.4	16.7	▲ 19.8	▲ 13.0
	10-12	▲ 20.8	▲ 17.2	10.4	▲ 17.7	▲ 2.1
平成28年	1-3	▲ 26.4	▲ 21.6	1.9	▲ 18.7	▲ 8.5
	4-6	▲ 29.1	▲ 27.3	3.5	▲ 28.6	▲ 5.5
	7-9	▲ 23.2	▲ 20.9	7.9	▲ 16.9	▲ 4.5
	10-12	▲ 14.7	▲ 13.3	15.0	▲ 19.7	▲ 7.4
平成29年	1-3	▲ 13.5	▲ 7.9	20.2	▲ 20.2	▲ 1.6
	4-6	▲ 9.3	▲ 7.7	22.1	▲ 16.3	▲ 1.9
	7-9	▲ 10.0	▲ 9.5	18.2	▲ 14.2	▲ 6.6

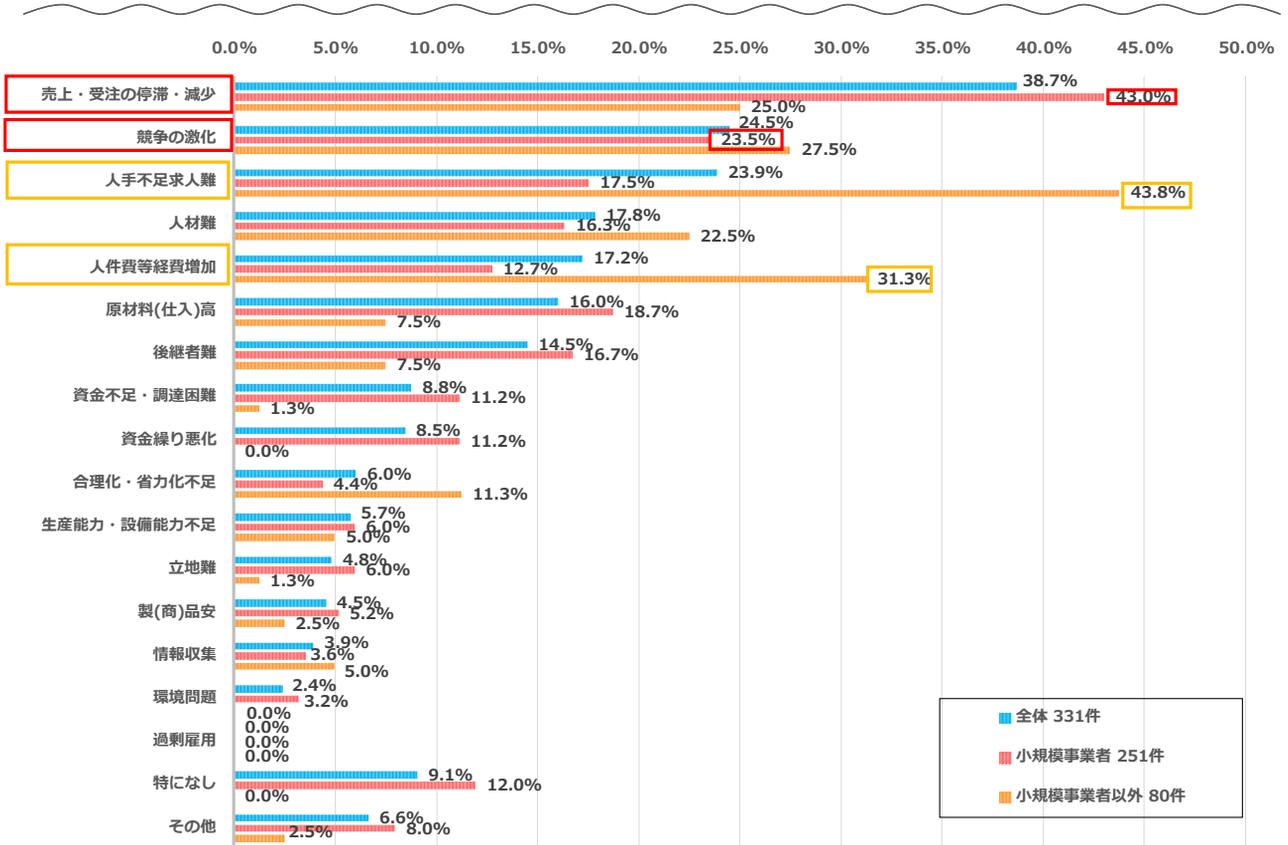
<出典>

茨城県内主要企業の経営動向調査(常陽地域研究センター)
平成27年、28、29年 項目別判断DI値※

※DI値とは、各種判断を指数化したもので、各判断項目について3個の選択肢を用意し、次式により算出している。
DI値 = (第1選択肢の回答社数構成百分比) - (第3選択肢の回答社数構成百分比)

○経営上の問題

- ・全体では「売上・受注の停滞・減少」の割合が最も高く、38.7%だった。
- ・小規模事業者では「売上・受注の停滞・減少」が43.0%で最も高かった。次いで多かった項目が「競争の激化」で23.5%だった。
- ・小規模事業者以外では「人手不足求人難」43.8%、「人件費等経費増加」31.3%の割合が高く、人材に関して経営上の問題を抱えていた。



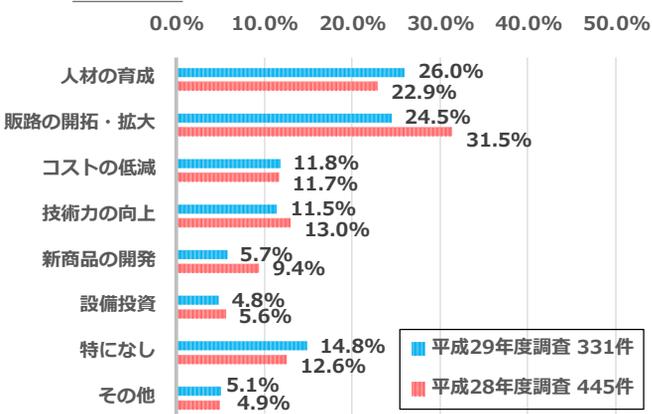
	全体		小規模事業者		小規模事業者以外	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
売上・受注の停滞・減少	128件	38.7%	108件	43.0%	20件	25.0%
競争の激化	81件	24.5%	59件	23.5%	22件	27.5%
人手不足求人難	79件	23.9%	44件	17.5%	35件	43.8%
人材難	59件	17.8%	41件	16.3%	18件	22.5%
人件費等経費増加	57件	17.2%	32件	12.7%	25件	31.3%
原材料(仕入)高	53件	16.0%	47件	18.7%	6件	7.5%
後継者難	48件	14.5%	42件	16.7%	6件	7.5%
資金不足・調達困難	29件	8.8%	28件	11.2%	1件	1.3%
資金繰り悪化	28件	8.5%	28件	11.2%	0件	0.0%
合理化・省力化不足	20件	6.0%	11件	4.4%	9件	11.3%
生産能力・設備能力不足	19件	5.7%	15件	6.0%	4件	5.0%
立地難	16件	4.8%	15件	6.0%	1件	1.3%
製(商)品安	15件	4.5%	13件	5.2%	2件	2.5%
情報収集	13件	3.9%	9件	3.6%	4件	5.0%
環境問題	8件	2.4%	8件	3.2%	0件	0.0%
過剰雇用	0件	0.0%	0件	0.0%	0件	0.0%
特になし	30件	9.1%	30件	12.0%	0件	0.0%
その他	22件	6.6%	20件	8.0%	2件	2.5%

※小規模事業者とは、中小企業基本法2条5項に基づき、従業員5人以下の商業(卸売業・小売業)・サービス業(飲食業を含む)、または従業員20人以下の製造業その他業種を指している。

○重視する経営方針

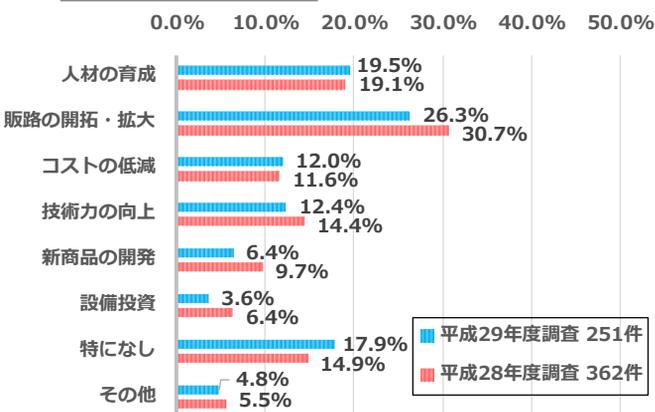
- ・全体では「人材の育成」の割合が最も高く、26.0%だった。昨年度は「販路の開拓・拡大」を重視する割合が最も高かったが、本年度は24.5%(前年比7.0%減)だった。
- ・小規模事業者では昨年度同様、「販路の開拓・拡大」を重視する割合が高く、26.3%(前年比4.4%減)だった。
- ・小規模事業者以外では「人材の育成」を重視する割合が高く、46.3%(前年比6.5%増)だった。

○全体



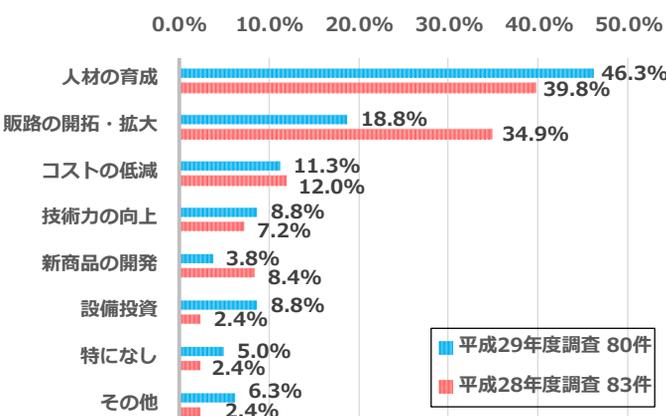
	平成29年度調査		平成28年度調査	
	回答数	割合	回答数	割合
人材の育成	86件	26.0%	102件	22.9%
販路の開拓・拡大	81件	24.5%	140件	31.5%
コストの低減	39件	11.8%	52件	11.7%
技術力の向上	38件	11.5%	58件	13.0%
新商品の開発	19件	5.7%	42件	9.4%
設備投資	16件	4.8%	25件	5.6%
特になし	49件	14.8%	56件	12.6%
その他	17件	5.1%	22件	4.9%

○小規模事業者



	平成29年度調査		平成28年度調査	
	回答数	割合	回答数	割合
人材の育成	49件	19.5%	69件	19.1%
販路の開拓・拡大	66件	26.3%	111件	30.7%
コストの低減	30件	12.0%	42件	11.6%
技術力の向上	31件	12.4%	52件	14.4%
新商品の開発	16件	6.4%	35件	9.7%
設備投資	9件	3.6%	23件	6.4%
特になし	45件	17.9%	54件	14.9%
その他	12件	4.8%	20件	5.5%

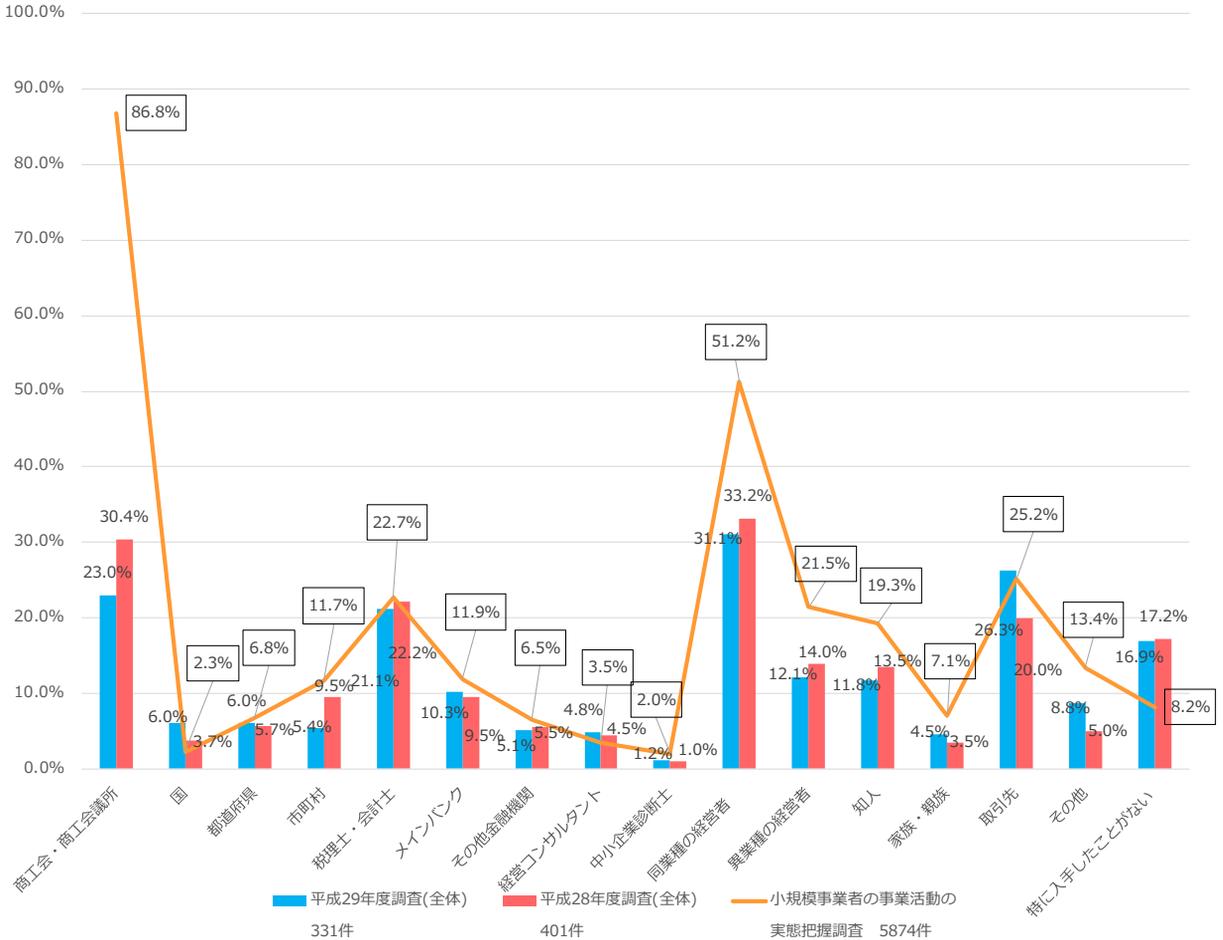
○小規模事業者以外



	平成29年度調査		平成28年度調査	
	回答数	割合	回答数	割合
人材の育成	37件	46.3%	33件	39.8%
販路の開拓・拡大	15件	18.8%	29件	34.9%
コストの低減	9件	11.3%	10件	12.0%
技術力の向上	7件	8.8%	6件	7.2%
新商品の開発	3件	3.8%	7件	8.4%
設備投資	7件	8.8%	2件	2.4%
特になし	4件	5.0%	2件	2.4%
その他	5件	6.3%	2件	2.4%

○情報の入手先

- ・昨年度に比べ「取引先」から情報を収集する割合が6.3%増加した。
- ・「特に入手したことがない」事業者が小規模事業者の事業活動の実態把握調査に比較して多かった点を鑑みると、情報に頼ることなく事業を営んでいる方が多いことがうかがえる。



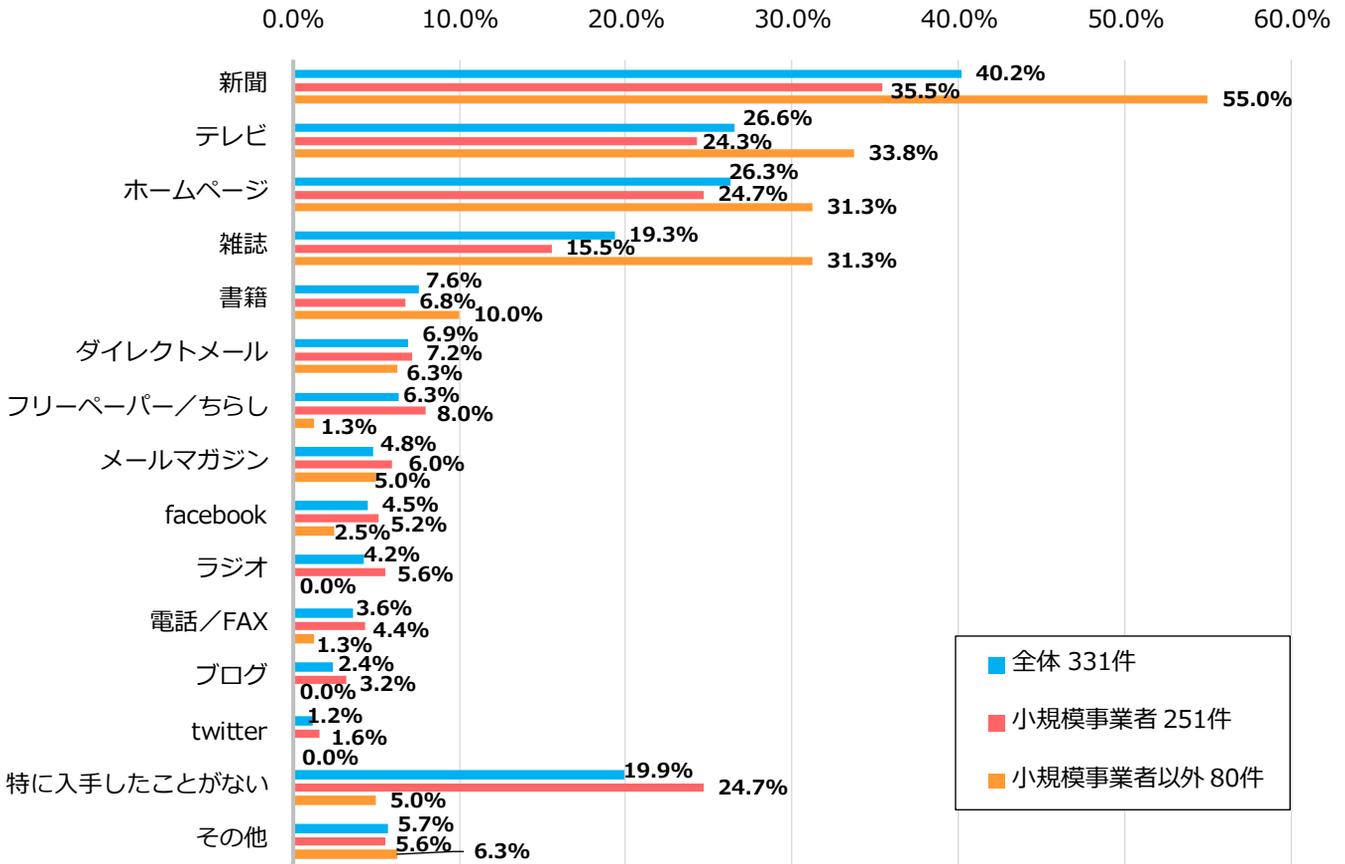
	平成29年度調査(全体) 331件	平成28年度調査(全体) 401件	小規模事業者の 事業活動の 実態把握調査 5874件
商工会・商工会議所	23.0%	30.4%	86.8%
国	6.0%	3.7%	2.3%
都道府県	6.0%	5.7%	6.8%
市町村	5.4%	9.5%	11.7%
税理士・会計士	21.1%	22.2%	22.7%
メインバンク	10.3%	9.5%	11.9%
その他金融機関	5.1%	5.5%	6.5%
経営コンサルタント	4.8%	4.5%	3.5%
中小企業診断士	1.2%	1.0%	2.0%
同業種の経営者	31.1%	33.2%	51.2%
異業種の経営者	12.1%	14.0%	21.5%
知人	11.8%	13.5%	19.3%
家族・親族	4.5%	3.5%	7.1%
取引先	26.3%	20.0%	25.2%
その他	8.8%	5.0%	13.4%
特に入手したことがない	16.9%	17.2%	8.2%

<出典>

平成26年度 小規模事業者の事業活動の実態把握調査
(日本アプライドリサーチ研究所)

○情報の入手先 (メディア)

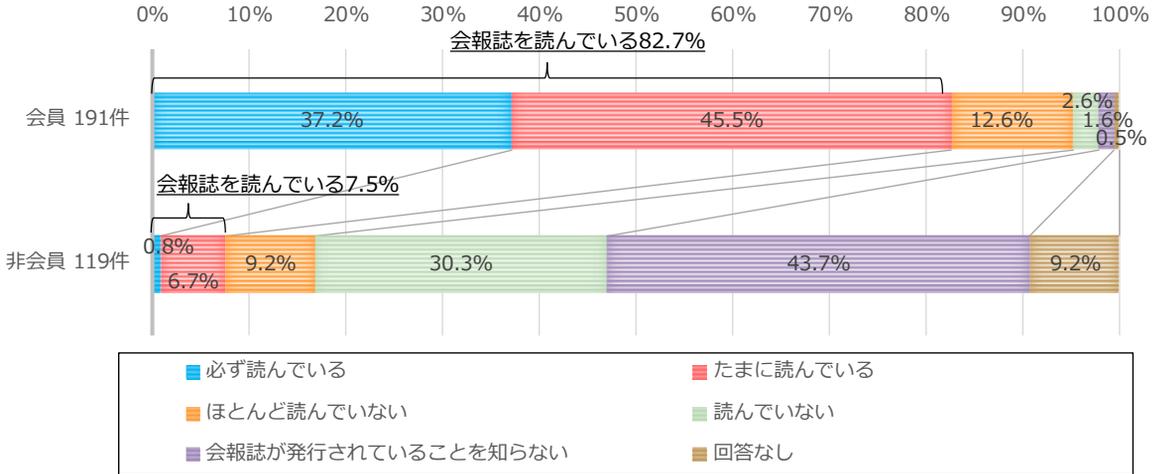
- ・全体では情報の入手先として最も多かったのは「新聞」で40.2%だった。次いで「テレビ」、「ホームページ」と続き、それぞれ26.6%、26.3%だった。
- ・小規模事業者は「特に入手したことがない」が24.7%で、小規模事業者以外に比べ19.7%ポイント多い。
- ・小規模事業者の方の割合の多いメディアは、「ラジオ」、「ダイレクトメール」、「電話/FAX」、「フリーペーパー/ちらし」、「ブログ」、「メールマガジン」、「facebook」、「twitter」だった。
- ・小規模事業者以外は「テレビ」、「新聞」、「雑誌」、「ホームページ」で小規模事業者よりも約7%~20%近く高かった。



	全体		小規模事業者		小規模事業者以外	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
新聞	133件	40.2%	89件	35.5%	44件	55.0%
テレビ	88件	26.6%	61件	24.3%	27件	33.8%
ホームページ	87件	26.3%	62件	24.7%	25件	31.3%
雑誌	64件	19.3%	39件	15.5%	25件	31.3%
書籍	25件	7.6%	17件	6.8%	8件	10.0%
ダイレクトメール	23件	6.9%	18件	7.2%	5件	6.3%
フリーペーパー/ちらし	21件	6.3%	20件	8.0%	1件	1.3%
メールマガジン	16件	4.8%	15件	6.0%	4件	5.0%
facebook	15件	4.5%	13件	5.2%	2件	2.5%
ラジオ	14件	4.2%	14件	5.6%	0件	0.0%
電話/FAX	12件	3.6%	11件	4.4%	1件	1.3%
ブログ	8件	2.4%	8件	3.2%	0件	0.0%
twitter	4件	1.2%	4件	1.6%	0件	0.0%
特に入手したことがない	66件	19.9%	62件	24.7%	4件	5.0%
その他	19件	5.7%	14件	5.6%	5件	6.3%

○会報誌を読む頻度

- ・会員の82.7%が会報誌を読んでいた。
- ・非会員で会報誌を読んでいる割合は7.5%だった。
- ・会員と非会員で会報誌を読んでいる割合に大きな差があった。



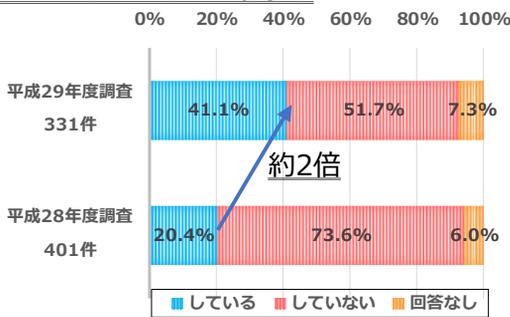
※会報誌は取手市商工会が年6回発行しているもの。年4回は会員だけに向けて発行しているが、年に2回は新聞折込により市民に対しても配布している

○ホームページとSNS

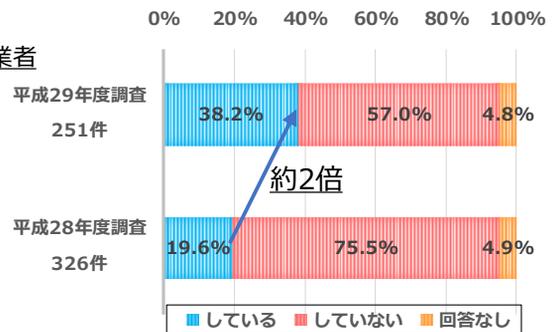
- ・昨年度に比べホームページやSNSを利用している事業者の割合は共に約2倍になった。

○ホームページの閲覧

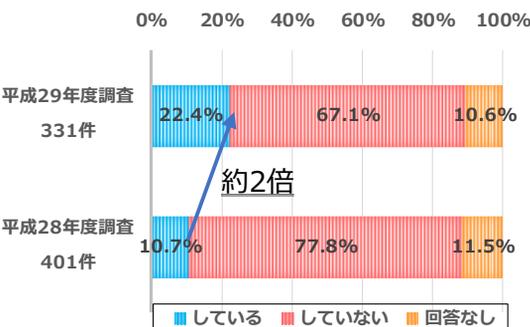
全体



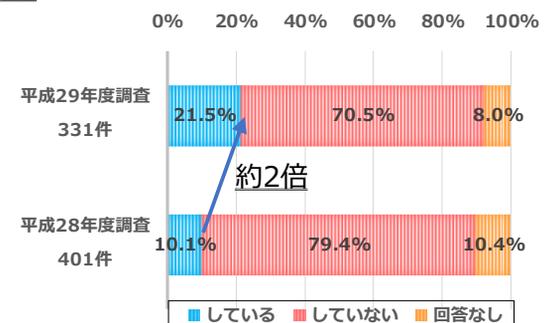
小規模事業者



全体 ○SNSの利用

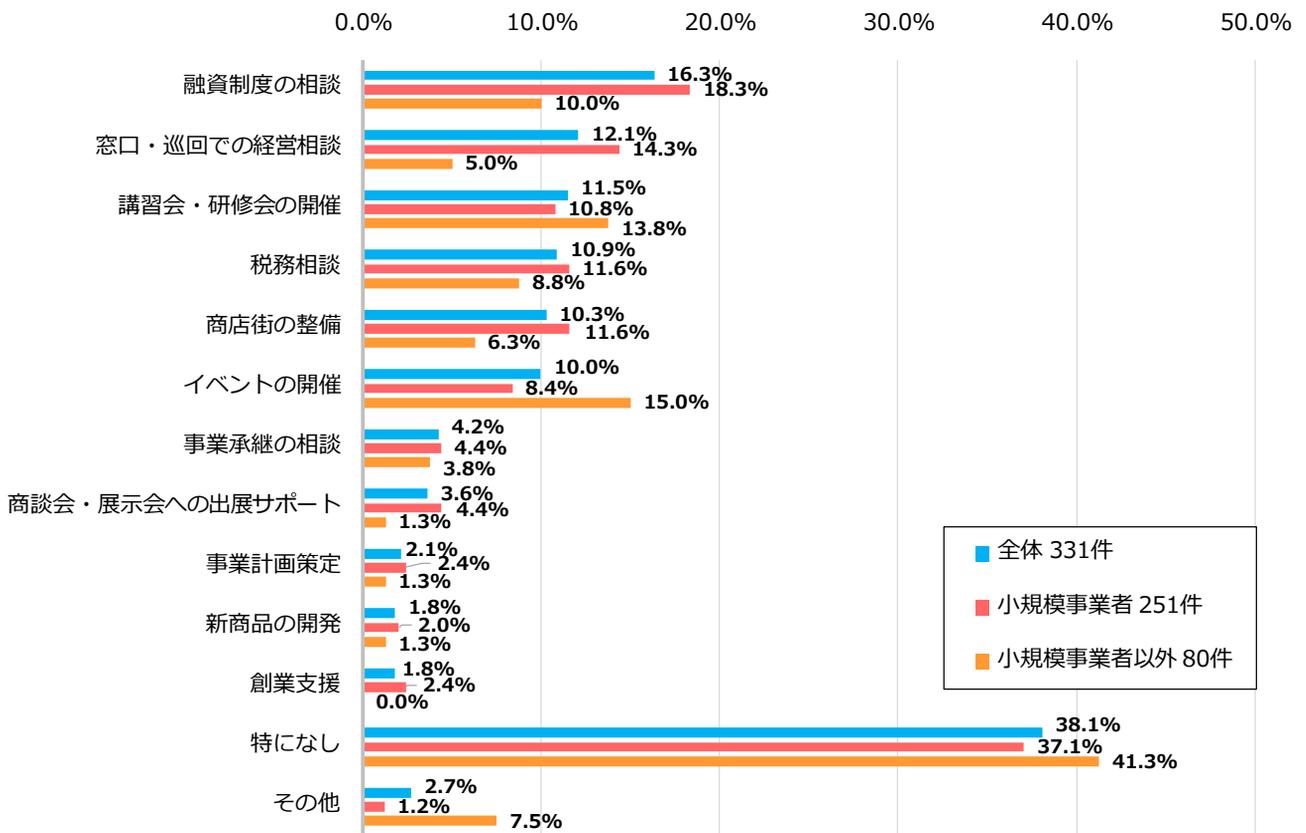


小規模事業者



○商工会に期待する支援

- ・全体では「特になし」を除くと「融資制度の相談」が最も多く、16.3%だった。
- ・小規模事業者では「融資制度の相談」が18.3%で最も多く、次いで多かったのは「窓口・巡回での経営相談」14.3%だった。
- ・小規模事業者以外では「イベントの開催」が多く、15.0%だった。



	全体		小規模事業者		小規模事業者以外	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
融資制度の相談	54件	16.3%	46件	18.3%	8件	10.0%
窓口・巡回での経営相談	40件	12.1%	36件	14.3%	4件	5.0%
講習会・研修会の開催	38件	11.5%	27件	10.8%	11件	13.8%
税務相談	36件	10.9%	29件	11.6%	7件	8.8%
商店街の整備	34件	10.3%	29件	11.6%	5件	6.3%
イベントの開催	33件	10.0%	21件	8.4%	12件	15.0%
事業承継の相談	14件	4.2%	11件	4.4%	3件	3.8%
商談会・展示会への出展サポート	12件	3.6%	11件	4.4%	1件	1.3%
事業計画策定	7件	2.1%	6件	2.4%	1件	1.3%
新商品の開発	6件	1.8%	5件	2.0%	1件	1.3%
創業支援	6件	1.8%	6件	2.4%	0件	0.0%
特になし	126件	38.1%	93件	37.1%	33件	41.3%
その他	9件	2.7%	3件	1.2%	6件	7.5%

自由記述

16件のご意見が寄せられた。
相談窓口や地域振興に向けた期待や要望、イベントの開催に関する要望などが見られた。

会員・非会員	回答内容
会員	よく頑張っていると思います。話をよく聞いてくれます。
	懇切なご指導に感謝しております。身近な相談窓口として今後共お世話になります
	特に無い。たいへん良いと思う。がんばって下さい
	確定申告を始め、いろいろな事で大変お世話になっています。いろいろと助かっています。商工会の人達（藤代）の話しやすい相談しやすいが、いろいろな事につながるとおもいます。
	初めて商工会の法律相談に経理担当者が伺ったのですが30分という時間があっという間に過ぎてもっと聞きたい事があったのですが聞けなかったと言っていました。（売掛金の未回収の件で）
	これから異業種への事業計画をしている。66才になるが融資等は高齢でもできると思うがいくら位まで融資ができるのか。3000万円位は必要かと思っている
	年々取手市の活気が弱くなっての気がします。是非取手市商工会様に頑張って頂きたい。
	地域経済動向調査事務局（取手商工会）より調査結果を知らせて下さい。取手駅ビルについても地域として、どう考えているのか？
	例年実施している商工祭も飲食の、ガードが厳しく、出店する団体が減少し、内容もマンネリ化しているように思えます。せっかくのイベントですから、盛り上げて、いかなければもったいない気がします。アドバイスよろしくお願ひします。
	具体的な行動
非会員	藤代町がもっと勢いのある町魅力のある町になってほしい
	新人研修会マナー（手紙の書き方・言葉使い・ペン字など）
	非会員のため特になし。ただし、「悪貨は良貨を駆逐する」社会保険料の現実を直視すべき！
	井の中のかわずにならないように、頭をやわらかく。（取手）
	取手を、もっと若い方々が、楽しく、できるような町造りは、一番大切です。今のままでは、お客様の声です。住宅地では、声が沢山あります。
	人が集まらない街＝魅力がない街今の取手は、そんな街。他の地域がどこもやってない取手ならではの「何か」を探せばと思います。いろんな方々から意見を募ってみるのもよいのではないのでしょうか。

まとめ

小規模事業者の回答データをまとめてみると、DIでは「売上状況」が-26.3で最も悪く、経営上の問題点としても「売上・受注の停滞・減少」を挙げている事業者が38.7%で最も多かった。

今後の経営方針では売上を向上させるために「販路の開拓・拡大」を挙げている方が24.5%で多く、商工会に期待する支援として「窓口・巡回での経営相談」、「商談会・展示会への出展サポート」がそれぞれ12.1%、3.6%だった。

○小規模事業者回答まとめ

各種DI 項目	DI値	経営上の問題点		今後の経営方針		商工会に期待する支援	
		項目	割合	項目	割合	項目	割合
1位	売上状況 ▲ 26.3	売上・受注の停滞・減少	38.7%	人材の育成	26.0%	特になし	38.1%
2位	業況 ▲ 26.0	競争の激化	24.5%	販路の開拓・拡大	24.5%	融資制度の相談	16.3%
3位	顧客状況 ▲ 25.7	人手不足求人難	23.9%	特になし	14.8%	窓口・巡回での経営相談	12.1%
4位	仕入価格 23.8	人材難	17.8%	コストの低減	11.8%	講習会・研修会の開催	11.5%
5位	資金繰り ▲ 20.3	人件費等経費増加	17.2%	技術力の向上	11.5%	税務相談	10.9%
6位	来期経常利益 ▲ 3.3	原材料(仕入)高	16.0%	新商品の開発	5.7%	商店街の整備	10.3%
7位	直近経常利益 ▲ 3.0	後継者難	14.5%	その他	5.1%	イベントの開催	10.0%
8位		特になし	9.1%	設備投資	4.8%	事業承継の相談	4.2%
9位		資金不足・調達困難	8.8%			商談会・展示会への出展サポート	3.6%
10位		資金繰り悪化	8.5%			その他	2.7%
11位		その他	6.6%			事業計画策定	2.1%
12位		合理化・省力化不足	6.0%			新商品の開発	1.8%
13位		生産能力・設備能力不足	5.7%			創業支援	1.8%
14位		立地難	4.8%				
15位		製(商)品安	4.5%				
16位		情報収集	3.9%				
17位		環境問題	2.4%				
18位		過剰雇用	0.0%				

・(注)「各種DI」は設問(6)売上状況～設問(12)来期経常利益の回答結果のうち「悪化している」の判断と「良くなっている」の判断の差の低い(問題となっている)順に並べたもの。